

参考

# 事業主のみなさまへ

## 障害者雇用ガイド



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

国立職業リハビリテーションセンター

# 職業訓練から採用までの流れ

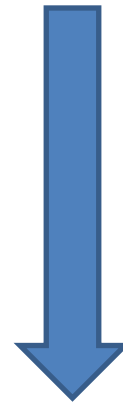
職業訓練（センター内）



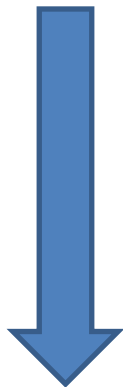
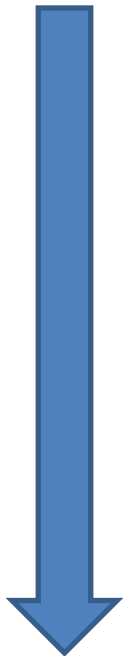
求職活動（ハローワーク等）



職場実習



企業連携職業訓練



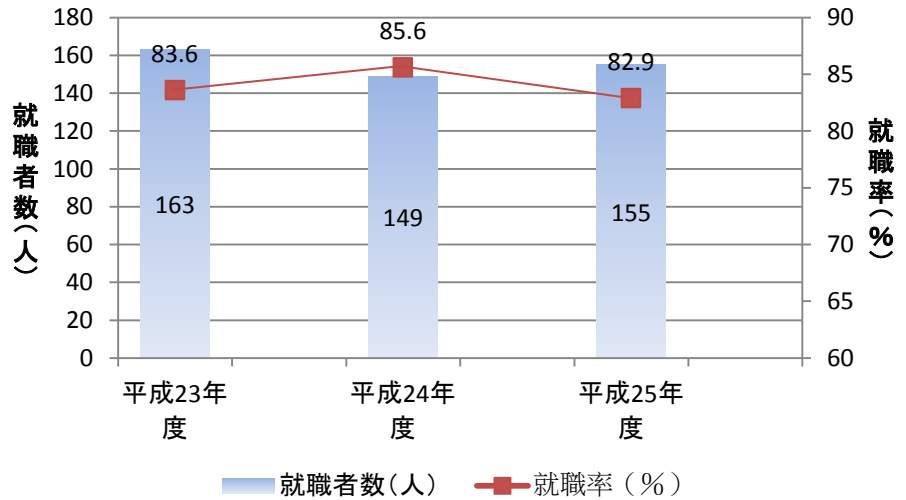
採用

- 各種助成金の活用
- ジョブコーチ支援事業の活用
- 関係機関との連携による支援
- トライアル雇用、精神障害者等ステップアップ雇用

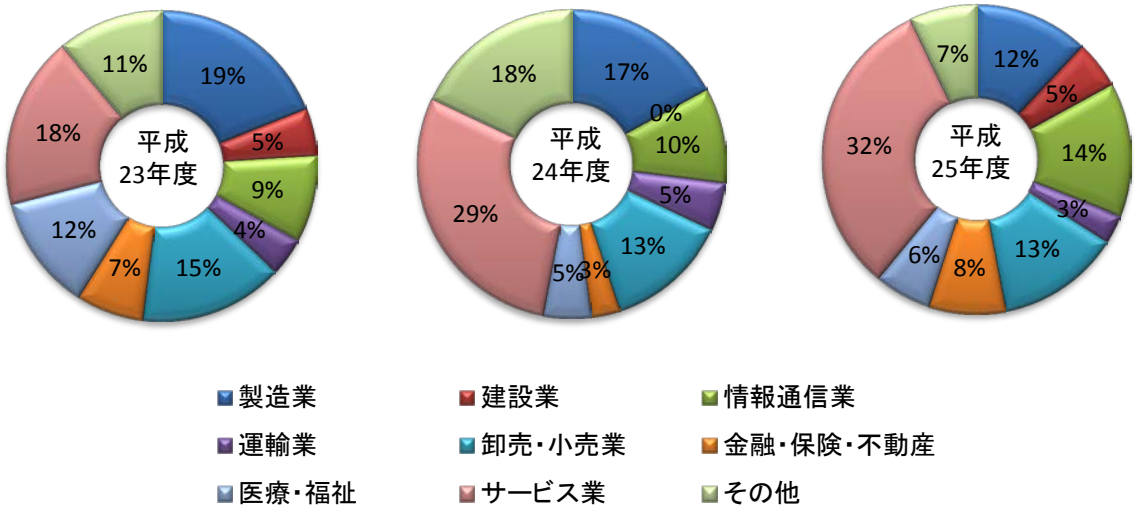
※ 採用に際して企業連携職業訓練実施後にトライアル雇用、精神障害者等ステップアップ雇用の利用はできません。

# 就職状況

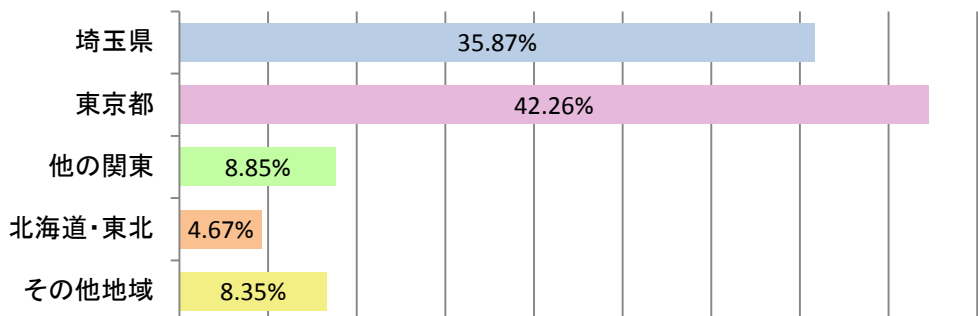
## 就職者数及び就職率



## 就職先の業種（年度別）



## 訓練生の出身地域別状況（平成24・25年度）



## 障害者雇用をご検討の事業主の皆様への支援

( )は25年度実績

◇訓練の修了予定者（修了者を含む）の求職情報を提供  
します

求職情報リクエスト事業所（83社）

◇当センターの見学をご案内します

＊ 訓練生の採用をご検討の際は、訓練場面の見学をお勧めします。

見学会参加事業所（80社）

◇当センター内での会社説明会の開催をご案内します

説明会実施事業所（31社）

◇障害者雇用に関する相談、受入れに関する助言をします

来所相談（323件） 出張相談（884件）

◇受入準備講座（事業主の方々に障害者雇用に関する知識・  
ノウハウについて理解を深めてもらう講習会）への参加を  
ご案内します

参加事業所（120社）

◇職場実習や企業連携職業訓練の実施時は、職員が事業所に  
訪問し、様々な助言・支援等を行います

職場実習（75人） 企業連携職業訓練（18人）

## 訓練生を採用した事業主の皆様への支援

◇採用後に訪問等を行い、職場定着の様子を確認します。  
支援が必要な場合、解決に向けた相談に応ずるとともに、  
関係機関と連携して支援します

◇採用した訓練生のスキルアップが必要な場合に、ニーズに  
応じた職業訓練を行います

在職者訓練（34コース 97人）

# 修了生の就職事例

| 障害名                                   | 就職事例  |
|---------------------------------------|---|
| 肢体不自由<br>※身体の麻痺や切断、疾病による筋力の低下など。      | 大学在学中のスポーツ事故で脊髄損傷となり車いすでの生活となる。医療機関でのリハビリを経て当センター経理事務科会計ビジネスコースを受講する。簿記検定2級を取得後、都内の保険会社に契約社員として入社。1年後に正社員となり現在は経理部で勤務する。  |
| 聴覚障害<br>※聴力の低下、言語の障害。                 | 聾学校高等部を卒業後、テクニカルオペレーション科組立・検査コースを受講する。旋盤、ボール盤などによる機械加工や組立、測定を学び修了後は中堅自動車部品メーカーに就職。現在はブレーキの組み立て部門に配属され契約社員として勤務する。   |
| 視覚障害<br>※全盲、弱視（視野欠損など）                | 大学卒業後に営業職として就職するが、網膜色素変性症のため視力が低下し退職した。その後、当センター視覚障害者情報アクセスコースを受講。拡大読書機及び音声読み上げソフトを使った表計算ソフトによるデータ処理、ホームページ作成(HTML)などの技能を習得する。修了後は、人材派遣会社に契約社員として就職し、同社従業員の労務管理に従事する。 |
| 高次脳機能障害<br>※失語症、失行症、失認症、注意障害、遂行機能障害など | エンジニアとして15年間勤務するが、くも膜下溢血により離職する。後遺症として右上下肢の麻痺と高次脳機能障害（失語症、遂行機能障害）が残る。当センター職域開発課に入所後は、メモリーノートなどの障害を補う方法を習得。修了後は、保険会社のパートタイマーとして就職し、事務センターでデータ入力作業、メールの仕分け、配達に従事する。     |
| 精神障害<br>※うつ病、統合失調症、てんかんなど             | 高校在学中に統合失調症を発症し、入院、自宅療養を経て、IT系専門学校に進学し就職を目指すが大変となる。当センターWebコースを受講し、HTML/CSS、画像処理やアニメーションなどの技能を習得する。修了後は、Webコンテンツを制作する企業の契約社員として就職する。                                  |
| 知的障害                                  | 特別支援校高等部を卒業後、当センター職業実務科販売・物流ワークコースを受講する。店舗での商品のパッキングや陳列、接客、物流センターでのピッキング作業、仕分けなどの訓練を受ける。修了後は、アパレル製造・販売会社のパートタイマーとして就職。現在は、店舗での品だし、検品、仕分け作業などに従事する。                    |
| 発達障害<br>※アスペルガー症候群、学習障害、読字障害など        | 高校卒業後就職するも、人間関係等を理由に5年間離職を繰り返していた。当センターオフィスワークコースを受講し、パソコンアプリケーションの基本操作、ビジネス文書や各種のグラフ資料の作成、在庫管理、社内メール業務の技能を習得。修了後は、光学機器メーカーに就職し、総務部門で伝票仕分け、データ入力、会議室の管理などの業務に従事する。    |